



# 王ーだより

令和3年11月号  
北区立王子第一小学校  
校長 荒木 康子

教育目標  仲良く助け合う子  身体をきたえ元気な子  よく考え最後までやりぬく子  親切で礼儀正しい子

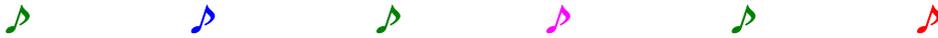
## 音楽会 ～♪ 心のハーモニー ♪～

校長 荒木 康子

木々の葉が色づき、朝夕冷え込むころとなりました。今、新校舎のステップホールやなかよしホール、体育館に歌声や楽器の練習の音が響いています。11月17日から4日間に及び繰り広げられる音楽会に向けて、日々練習を重ねています。

音楽会は、3年に一度実施しています。今年の音楽会は、「感じよう日本の心！ 響かせよう ぴかいちサウンド！」をテーマに「日本の音楽」を奏でます。心をひとつにして、歌唱・合奏をお届けします。

当日は、子供たちの練習の成果をご鑑賞くださいますよう、ご家族の皆様のご来校を心よりお待ちしております。王子第一小学校の子供たちの素晴らしい歌声と演奏をお聴きいただき、成長ぶりや健やかに育つパワーを感じていただきたいと思います。



音楽会では、各学年の子供たちがともに楽曲を仕上げ、発表するという体験を通して、学級や学年の所属感や連帯感を深めていきます。もちろん、音楽の学習を積み重ねた結果を発表する場ですから、協力してよりよい演奏を目指しています。そして、演奏を終えたとき、「喜びを仲間と分かち合う心情」を大切にしたいと考えています。

この2年間、学校行事への制限（密防止、飛沫防止の徹底等）は、音楽教育に大きな影響をもたらしています。鍵盤ハーモニカやリコーダー等の吹奏楽器の指導の困難さ、歌唱はマスク着用、共有する楽器の消毒等にも時間と労力をかけています。厳しい状況が続く中で音楽会ですから、今年度はできる範囲で工夫しながら計画してきました。

音楽会を実施する北区の他の小学校でもそれぞれの学校規模や施設等の条件に合わせ、苦慮しながらの実施を予定しています。参加人数の制限やオンラインでの鑑賞、抽選で座席の指定等を工夫されているようです。

本校では、体感を通じた感動を大切に、生で聴き、実際に観て、音楽の感動を体験させたいと考えてきました。ですから、児童鑑賞日を3日間（各日2学年約180名程度）設けました。

子供たちには、音楽会に向けて「心のハーモニーを楽しむこと」を大切にしてほしいと願います。「ハーモニー」とは「一致、連結、調和」を意味します。音楽会での「ハーモニー」は、「みんなで心をひとつにすること」と捉えます。心をひとつにするまでには、その過程こそが大切です。徐々に培われてきた過程としての結果でなければ、当日の喜びや感動は得られることはないはずで、練習や4日間の本番の過程で、学校行事を通して培われる所属感や連帯感、よりよい人間関係づくりが育まれていくと信じています。このような状況下でも、音楽を通して育ちゆく子供たちの「心のハーモニー」を音楽会で感じていただけることを願います。